

トライやる・ウィーク特集

トライやるで中学生が取材しました

5月31日から6月11日にかけて、町内で「トライやる・ウィーク」が行われました。今年は、329人の中学2年生が1週間の期間中、延べ98カ所の事業所で活動しました。今回、私達8人(六瀬中学2人・中谷中学2人・猪名川中学4人)は、町役場広報コミュニケーション課で紙面づくりを行いました。編集作業では紙面のレイアウトを考えたり、実際に6カ所の事業所へ取材に行つて記事をつくりました。私達の友達が頑張つて活動していた様子をお伝えします。

今年、兵庫県では7回目のトライやる・ウィークを迎えました。この事業がなぜ兵庫県で行われるようになったかという点、平成7年に阪神・淡路大震災が起きて大きな被害をもたらしましたが、その中で、命を大切にすることやボランティア精神を教訓づけてくれました。しかし、平成9年に神戸で中学生による児童殺傷事件が起こり、心の教育が充実できていないことがわかりました。そこで地域との

中学校は11月にトライやる・ウィークを実施しました。その陰では各校の先生が事業所の方に生徒の受け入れを頼んでくださったり、県や町からお金の援助をしていただいています。そして不景気にもかかわらず、事業所の方がトライやる・ウィークに協力してくださったので、学校ではできないような体験ができてとても感謝しています。

トライやる・ウィークへ行く前、私達は各中学校で、先生を決めていきます。先生が生徒の希望をとり、できるだけ希望通りになるように先生が生徒を振り分けて事業所に行くまでに、学校でトライやる・ウィークについていろいろな話をしました。また、

果樂土（カラット）さん (生徒：猪名川中学校6人)



丁事にイチゴのバック詰めをしていました

事業所に手紙を出した、事前訪問して指導ボランティアの方にあいさつに行く学校もありました。どの中学校もトライやる・ウィークに向けて、さまざまな活動をしてきました。このトライやる・ウィークを通して、自分の将来など考えていけたらいいと思います。

事業所には、接客やそば・うどん作りなどを行っています。「まんか」という名前は、この家の先祖に「萬仲屋嘉兵衛（まんちゅうやかへい）」という方がいて、その名を略して「萬嘉（まんか）」にされたそうです。指導ボランティアの福中さんは、接客にあたって気を付けていることは、笑顔で心がけることで、その言葉の通り皆さん絶えず笑顔でした。お客さんに言われて嬉しいことは「おいしかった」「雰囲気よかった」と言われることだそうです。福中さんは「生徒はまじめにやってくれています。この事業はいい事だと思います。どんな仕事を割り当てるかには気をしますが、掃除などは大変助かっています。」とおっしゃっていました。生徒は、掃除や料理の下ごしらえ、お客さんが帰った後の後片付けなどをしながら「仕事は大変です」「いっぱい人が来ると忙しいです」などと話していました。皆とても真剣に取り組んでいました。



▲食器を落とさないように慎重に運んでいました

まんか旅館さん (生徒：猪名川中学校4人)

まんか旅館では、接客やそば・うどん作りなどを行っています。「まんか」という名前は、この家の先祖に「萬仲屋嘉兵衛（まんちゅうやかへい）」という方がいて、その名を略して「萬嘉（まんか）」にされたそうです。指導ボランティアの福中さんは、接客にあたって気を付けていることは、笑顔で心がけることで、その言葉の通り皆さん絶えず笑顔でした。お客さんに言われて嬉しいことは「おいしかった」「雰囲気よかった」と言われることだそうです。福中さんは「生徒はまじめにやってくれています。この事業はいい事だと思います。どんな仕事を割り当てるかには気をしますが、掃除などは大変助かっています。」とおっしゃっていました。生徒は、掃除や料理の下ごしらえ、お客さんが帰った後の後片付けなどをしながら「仕事は大変です」「いっぱい人が来ると忙しいです」などと話していました。皆とても真剣に取り組んでいました。

YMCAしろがね幼稚園さん (生徒：猪名川中学校6人)

YMCAしろがね幼稚園では、生徒は園児の世話を主にしていました。現在の園児数は162人で、園児達はトライやるで来た生徒と楽しく過ごしていました。園児のみんなは、たくさん遊んでくれる生徒達が大好きだそうです。園長の原さんによると、園で一番心がけていることは「園児達が安全に楽しく過ごせるようにすること」だそうです。また「子ども達にとって遊んでくれる先生が増えたことや園児達といっばい遊んでくれることは嬉しい」とおっしゃっていました。



▲生徒は楽しそうに園児達の相手をしていました

仲しい茸園さん (生徒：六瀬中学校2人)

仲しい茸園では、椎茸の栽培を行っています。この椎茸園では、日によって変わりますが1日に40キログラムほどの椎茸が収穫されます。指導ボランティアの仲さんは、椎茸を栽培して皆さんに食べていただくことにやりがいを感じて、この仕事をされているそうです。仲さんは「地元の人でも知らないような作業が、分かってもらえるいい機会だと思います」と、トライやる・ウィークについて話しておられました。



▲重たい椎茸の原木を運んでいるのが大変そうでした

社会福祉協議会さん (生徒：中谷中学校5人六瀬中学校2人)

社会福祉協議会では、障害者福祉センターと福祉センターに分かれて活動しています。障害者福祉センターでは利用者との作業が主な仕事で、アームバンドやハガキ、クッキーを作るそうです。作業品は、健康福祉まつりや道の駅などで売られています。トライやるで指導されている八木さんは「生徒はきちんと仕事をこなして真面目に頑張ってくれています」とおっしゃっていました。生徒の中でも「クッキーやハガキを作ったり、仕事という体験ができたりして楽しいです。将来、福祉の仕事がしたいです」と話している人もいました。ハガキは牛乳パックで作るそうです。牛乳パックを粉せつげんと一緒にお湯で煮たものに水を加えて、ミキサーにかけてどろどろにします。そのあと、すき棒と



クッキー作りは楽しそうでした

編集後記 (記者紹介)

今回のトライやる・ウィークの活動を通して、僕は広報という仕事の難しさを学びました。紙面のレイアウトを考えたり、取材して文章を考えたりすることはとても大変な作業でしたが、同時に楽しさも味わうこともできました。特に、取材では緊張しましたが、話を聞いた写真撮影を撮ったりすることはとても楽しかったです。将来、今回学んだことをぜひ活かしていきたいです。 <中谷中学校>



トライやる・ウィークで感じたことは、難しいこともあったけど、その反面楽しく仕事をすることができたことです。取材先でのインタビューやデジタルカメラでの撮影は、緊張して難しかったけど、とてもいい経験になりました。紙面作りで文章を考えるのは大変だったけど、できた時は本当に嬉しかったです。とても充実したものになりました。 <猪名川中学校>



天体望遠鏡使い方教室開催

～自分の望遠鏡で天体観測に挑戦しよう！～
 とき 7月24日(土)午後5時～同9時30分(雨天中止)
 ところ 猪名川天文台(アストロピア)猪名川町柏原
 対象 使い方のわからない人、購入機種選びに迷っている人など
 持ち物 望遠鏡(持っている人のみ)※貸し出し用も数台有ります
 参加費 無料(天文台入館には高校生以上200円が必要)
 その他 事前申込不要
 問い合わせ 農林商工課(766-8709)

一日救急隊長を募集!

9月5日、日生中央サビエで開催する救急フェアの一日救急隊長を募集します。
 ▼募集人数 2人
 ▼応募資格 町内の女性
 ▼活動日時 9月5日(日)午前10時～午後1時
 ▼報酬 無償(記念品贈呈)
 ▼募集内容 救急フェアへの参加の呼びかけ、救急業務に対するアンケートの実施、心肺蘇生法体験者の簡易人工呼吸マスク・パンフレットの配布など
 ※当日の服装については救急服を着用していただきます。
 ※申込氏名・年齢・職業・住所・電話番号を記載し、ハガキまたはFAXで8月5日までに消防本部(二日救急隊長係)〒666-0233 猪名川古津岡4-10 F3 へ
 ※8月15日までに採用者のみ決定通知を送付します
 問い合わせは、消防本部(766-0119)へ。

夏の交通事故防止運動

7月15日(土)～7月31日(土)

夏はレジャーなどによる交通量の増大に加え、暑さからくる疲れや気の緩みなどから、交通事故の多発が懸念されます。このため次の3点を重点項目とし、交通安全意識を高め、思いやりのある交通行動の実践を習慣づけ、交通事故防止に努めましょう。

安全速度の徹底

交通ルールを無視した運転は自分だけにとどまらず、他人までも危険にさらすことを意識しましょう。無謀・暴走運転を追放し、ゆとりのある安全運転を心がけましょう。

交差点での交通事故防止

事故の多くは交差点での確認不足やスピードの超過によるものです。交差点では「安全確認」を徹底し、黄色信号では「イエローストップ」を心がけましょう。